

# ホームランニュース

船橋市野球協会少年学童部発行  
http://www.funabashi-gakudou-baseball.jp/

## 習志野台ワンパクスW優勝

### 春季市民大会少年学童の部

4月1日から始まった春季市民大会少年学童の部の決勝戦が5月4日船橋市民球場で行われました。

Aリーグの決勝は、準決勝さざんかポニーズ戦を2対0と接戦を征した、今大会無失点の夏見台アタックスと、投手の好継投で三山スワローズを破った習志野

台ワンパクスの対戦でした。試合は2回表、4番高野君の四球を足がかりに7番六反君の左中間二塁打でワンパクスが1点を先攻。アタックスは4回裏に内野安打の石田君を中井君がスクイズで返し同点となりましたが、ワンパクスは5回表すかさず2本の内野安打とエラーで1点を追加しました。アタックスは最終回ツアアウト二塁から2番星野君のセンター前ヒットで、二塁ランナー小玉君がホームに突入しましたが、小濱君からの好返球でタッチアウト、2年前の3・4年生大会から続いていたアタックスの市公式戦の勝利

が途切れました。ワンパクスのAリーグ優勝は平成13年以来三度目となります。Aリーグに先立ち行われたBリーグの決勝戦はAリーグでも活躍する5年生志野台ワンパクスと、準決勝二和タイガースにサヨナラ勝ちをした海神スワローズの対戦でした。

試合は初回に効率よく3点を取ったワンパクスがその後長短打を放ち得点を重ねました。スワローズも4回にヒットと野選で1点を返し、最終回にもピンチランナー堀内さんを二塁に置き1番吉田君のセンター

前ヒットで1点を追加したものの反撃もここまで、ワンパクスは昨年の低学年大会に続いての優勝となり、平成12年以来二度目の優勝となりました。また、A・B両リーグの同時優勝は、80年前原イイトマン、97年習志野サンデーズに続き10年ぶり三度目となります。

今大会Aリーグで優勝した習志野台ワンパクスは全日本学童軟式野球千葉県大会、準優勝の夏見台アタックスは関東学童千葉県大会にそれぞれ出場することになります。また、3位の三山スワローズ、さざんかポニーズを含むベスト4のチームは8月に行われる、千葉県少年野球大会(千葉日報杯)に出場します。またBリーグ優勝の習志野台ワンパクスは関東学童秋季大会(日ハム杯)千葉県大会への出場が決まりました。

**チーム一丸の勝利**  
習志野台ワンパクス  
A 助監督 菅井史明

日報杯への出場権が得られるベスト4に残る事を目標に臨んだ春期大会、6年生の人数も少なく、当初はかなり高いハードルとの思いもありましたが、練習、試合を重ねる中で、チームとしてのまとまりが出来、良いチームになって来た。という手ごたえを感じられるように。そして、大会の中で、子供達は大きく成長してくれました。出場権を得てからの準決勝、決勝は、将に無欲の勝利と言えるところです。特に、決勝戦の相手は低学年時から市内で無敵の横綱チーム、失うものは何も無し、何時も練習している事を思いきりやるう！試合前の子供達への指示はそれだけでした。

結果は、想像もしなかった劇的な幕切れ……、

練習で何度も何度も繰り返した事を子供達は見事にやってくれたのです。当日、低学年の子もスタンドで大きな声で応援してくれていたようです。そして、何時も支えになってくれているお母さん方、又、学年の別なく、Aチームの練習に協力してくれたコーチ達、将にワンパクスチーム一丸となつて成し得た優勝でした。

最後になりましたが、大会の運営に携わっていただいた関係者の皆様に心より御礼を申し上げます。

**春季大会優勝**  
習志野台ワンパクス  
A 主将 小濱 惇平  
B チーム監督 鈴木

わが海神スワローズBチームは昨年9月によく部員12名になり何とか試合も組めるようになったばかりの新生チームですが、基礎的練習を繰り返して、今回の春季大会に望みましたが、正直ここまで(決勝)戦えるとは予想していませんでした。これも、子供たち一人一人の努力の賜物ではないかとおもいます。いつもひたむきに！あきらめない！楽しい野球を目標にやってみてほしい！決勝戦ではワンパクスに完敗はしましたが、今後わがチームには最大の目標ができ、打倒！ワンパクスを目標に頑張っていきたいと思っております。今後とも応援宜しくお願いします。

## 19年度学童部総会開催

3月11日(日)、平成19年度の学童部総会が運動公園事務所2階会議室で開催されました。

事前に行われた春季大会抽選会の余韻が残る中、谷島総務部長の司会進行のもと西海ドラゴンズ谷田部代表を議長とする議長団が選出され、議事が行われました。資格審査の報告(定数22名、出席43名(うち委任状8通)の後、18年度会務報告、決算報告が本部より説明され、質疑応答のあと全会一致で承認されました。引き続き19年度事業活動計画、予算案が提案されこちらも全会一致で承認されました。また、「大会特別規則」の変更について提案説明があり承認されました(詳細は別掲)。

その他の議題では、宮本ピーパーズ荒井代表より「心震盪」に関する質問があり、活発な意見交換により、今後、本部役員が行政

り説明され、質疑応答のあと全会一致で承認されました。引き続き19年度事業活動計画、予算案が提案されこちらも全会一致で承認されました。また、「大会特別規則」の変更について提案説明があり承認されました(詳細は別掲)。

その他の議題では、宮本ピーパーズ荒井代表より「心震盪」に関する質問があり、活発な意見交換により、今後、本部役員が行政

(市役所)と調整していくことでまとも平成19年度の総会はずべての議案が可決され終了しました。

なお、今年度は役員の変更はありません。詳細については後日発行する19年度「要覧」をご覧ください。



A・Bリーグ優勝の習志野台ワンパクス  
Bリーグ準優勝 海神スワローズ

# 春季市民大会 少年学童の部



## 大会特別規則の改定について

3月11日の19年度学童部総会において以下の変更が承認されました(摘要平成19年3月11日)。

一、グラウンドルールに関する事項  
野手が飛球を境界線を越えずに正規に捕球した後、境界線を越えた場合(片方の足の場合も含む)

は、走者は安全に1個の進塁が許される。  
二、ボークについて  
春季大会Bリーグについて、新入大会同様、個々の投手につき一度目は指導とし、二度目からは規則どおりペナルティを与える。  
三、試合時間の変更につ



いて(19年度試行)  
春季Aリーグ、夏季大会、秋季大会の1試合の時間を1時間45分とする。

第31回船橋市春季市民野球大会は総会開会式が、何年ぶりの雨のため4月1日に高瀬球場に場所を移し学童部のみの開会式を行い、直ちに熱戦の火蓋が切られました。  
今大会にはAリーグ42チーム、Bリーグ43チームの参加があり5月4日の決勝戦まで延べ81試合が行われ

れました。開会式以外は天候に恵まれ大会日程は順調に進めることができました。  
大会は習志野台ワンバクズが習志野サンデーズ以来10年ぶりのA・Bアベック優勝で終わりました。なお大会の結果等については学童部のホームページをご覧ください。



Aリーグ準優勝 夏見台アタックス

## 平成19年度

## 功労者表彰

雨で中止になった春季市民野球大会総合開会式終了後に行われる予定だった平成19年度の功労者表彰式が4月1日学童部の開会式終了後に行われました。

功労者表彰は、少年学童部の役員、審判や指導者として10年以上の功績のあった方に学童部の表彰規程に基づき行われるもので、19年度は別掲の19名の方が表

表彰されました。表彰式は、春季大会の開会式を終えた子供たちが見守る中、船橋市野球協会大沢会長より一人ひとりに感謝状と記念品の額縁が授与されました。

表彰を受けた皆様には今後とも学童野球の発展にご協力いただくようお願いいたします。

本年度の野球規則の改正は33項目にわたっていますが、その中で学童野球に関係する事項を紹介します。

1. 野手が正規の捕球後、ダッグアウトまたはボールデッドの場所に踏み込めばボールデッドとし、各走者は一個の進塁を許される。
2. 打者がバッターボックス内で打撃姿勢をとらなかつた場合、球審はストライクを宣告する。この場合ボールデッドとなり、いずれの走者も進塁できない。
3. 一塁に対する守備が行われているとき、打者走者は両足をスリーフットレーンの中もしくはスリーフットレーンのライン上に置かなければならない。
4. ダートサークルの設置
5. 塁に走者のいないとき、投手は12秒以内に打者に送球しなければならない(従前は20秒以内)。

このほか、投手の投球の際の軸足等の置き場所の変更がありました。プロ野球にのみ適用され、アマチュア野球では従前どりの規則を適用することとなっています。(詳細については、2007年版公認野球規則をご覧ください。)

## 平成19年度功労者表彰一覧

- 横井 隆一 (スズキ)
- 柏野 中 (スズキ)
- 岩崎 福 (スズキ)
- 菊池 林 (スズキ)
- 大村 里 (スズキ)
- 白川 石 (スズキ)
- 皆川 津 (スズキ)
- 森細 石 (スズキ)
- 小高 西 (スズキ)

(敬称略、順不同)

## 十八年度審判講習会

2月4日、11日の2日間にわたり、市認定審判講習会が若松球場を会場として行われました。4日は東武北部支部11日は西部、南部支部に別れ両日併せて約四百名の参加がありました。

講習は、ランニング、準備体操のあと、初めての人のと経験者の二班に分かれ、各ポジション(本塁、一塁、二塁、三塁)ごとの動き方を始め、実践形式でいろいろなケースを想定しての動き、ストライク・ボールの判定、ファールボールの判定などについて動作・発



声の練習をし、最後にボールの説明、質疑応答を行いました。まだ寒い日でしたが、手伝わっていた選手及び指導者の方々には大変お世話になりました。春の大会から二塁、三塁の審判をすることにしますが、子供たちは一生懸命プレーしております。基本動作に忠実に(タッチプレーは見やすい場所に移動、ホースプレーは離れて見るetc)審判を行ってください。またオープン戦で積極的に審判を行ってください。